



# 福島建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59  
（郵便番号960-8074）

福島建設工業新聞社

電話(024)534-7456（大代表）

©福島建設工業新聞社

（公社）日本専門新聞協会加盟紙

ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.fk-news.co.jp>

e-mail [hensyu@fk-news.co.jp](mailto:hensyu@fk-news.co.jp)

## 交通安全対策工事

- 区画線道路標識
- 薄層カラー塗装
- カッター工事



有限会社  
**阿部ライナー**

相馬営業所  
相馬市坪田字西原174-1  
TEL(0244)26-3018  
FAX(0244)26-3017

となり一括で調整を行う方針で、27年点検予定分については既にJRと協議を進めている。  
各年度の点検結果は、メンテナンス会議が取りまとめ公表する。  
第3回会議では、専門部会として（仮称）公道橋連絡会議を設置することを了承した。道路法上は対象外となる水管橋などについて、管理者に点検・診断・修繕を依頼するための調整機関となるもので、今年度内を目標に初会合を開く。

## 施設点検

# 5年間で約つ

## 7月稼動目指し着工

相双生コン協組

LEP運営 浪江に新プラント



東京電力福島第一原発の事故処理、双葉地方の復旧・復興事業に対応するため相双生コンクリート協同組合（永田茂男理事長）が新設する生コンプラントの起工式が9日、浪江町大字高瀬字小高迫地内で行われ、関係者が地域復興・再生への努力を誓った。

震災と原発事故により、同組合が双葉郡内で稼働させている生コンプラントは3カ所で、需要あいさつする永田理事長

し、状況に応じて延長する。運営は有限責任組合（LEP）方式。「双葉復興生コン」として春に設立する見通し。従業員は地元で採用する。

安全祈願祭には関係者約20人が出席。永田理事長、設計者の中西總一郎、中西測量設計社長、施工者を代表して添田彰田中建設取締役企画部長がクワ入れを行い、白石泰夫県生コンクリート工業組合専務理事、大淵一輝東京電力グループマネージャー、横関浩信セイアプラントカンパニー副本部長らが玉串をささげた。

## 動へ

に追い付かない状態。新生コン工場は、国道6号に隣接する浪江ゴルフ練習場の敷地1万7000平方メートルを借り、バッテリープラント（1回当たり2・75立方メートル）を2基、セメントサイロ6基（200トナ2基、100トナ4基）と事務所・試験室を新設する。7月の稼働、早期のJIS認定を目指す。施工は田中・草野特定JV。

以上、シエッド、ガルバート（2車線など）について、近況を基本とした点検に1度実施するよう努めている。診断4段階判定で健全同151）③市町村1万

尾村の管理施設と、これらの区域の管理131橋を除くすべての施設が対象。緊急輸送道路を構成する施設など優先順位に基づき計画案を策定した。

管理施設の内訳は①国交省1158（うち橋梁910、トンネル36）②県4848（同4375、同151）③市町村1万

11月の県内における建設関連の有効求人倍率（常用）は、建設躯体工事（型枠・とび・鉄筋工等）が12・14倍、保安（道路交通誘導員等）が10・75倍、建築・土木技術者が5・51倍など、いずれも高水準を維持した。保安が前月と比べ1・34倍アップした（倍率は公共職業安定所業務取扱月報から抜粋）。

# 予業費に3438億円

省の26年度補正予算案

事業費には災害復旧炭対策を中心に34億円を盛り込んだ。

水害・土砂災害対策、道路における地震・地滑りへの緊急対応を支援するため、防災・安全交付金

に505億円も盛り込んでいる。

総合交付金に25億円を盛り込んでいる。

の道路管理者に対して

事業者支援、地方の活性化

業費2523億円も設定

に505億円も盛り込んでいる。

に505億円も盛り込んでいる。

17日に会津で